



救急車が到達する前にできることを 6月20日(木)

濃南中学校で救命講習会が行われ、2・3年生が受講しました。この講習会は、水泳の授業が始まる前に安全な水泳学習のために行っており、3年生は昨年引き続き2回目の受講となります。

事前にeラーニングによる講習を受け、消防署職員から人工呼吸とAEDの取り扱いについて学んだ生徒らは、真剣な表情で取り組んでいました。



まっすぐ歩くかな？ 6月22日(土)

泉公民館で楽しい科学教室が行われ、参加した小・中学生14人が紙コップなどを使ってモーターで動く歩行ロボットを作りました。子どもたちは講師の説明を聞きながら真剣に製作。自分だけのロボットを動かす瞬間には緊張した表情をしていました。はじめは転んでしまったものの微調整をして上手に動き回る姿を見て、みんな喜んでいました。



おいしい料理を食べさせたい 6月29日(土)

男性に料理を作る機会を提供するための「おとこの料理教室」が肥田公民館で開催され、50～80代の男性15人が参加しました。今回は、夏向けで簡単なおいしく作ることでできるメニューとして、「豚肉と野菜のサマーシチュー」や「揚げナスのそぼろ煮」などの4品に挑戦。奥さんに食べさせたいと持って帰る参加者もあり、皆さん出来上がりに満足しているようでした。



ハンダ付けって難しいね 7月6日(土)

普段忙しいお父さんが、お子さんにかっこいいところを見せられるイベント「親子ふれあい工作教室」が妻木小学校で開催されました。2回目となる今回は、LEDランプシェード作りを行いました。参加した親子らは、多治見工業高等学校の生徒や先生から教わりながら、ハンダごてで作業をしたり思い思いの切り絵をシェードに貼ったりして、終始楽しそうに作っていました。



一緒に長生きしよう 7月9日(火)

市老人クラブ連合会のボランティア活動として、市内の老人施設へ手作りの「肩たたき棒」を贈呈する慰問が行われました。肩たたき棒は、老人会の役員たちが古くなった和服と新聞広告で作ったもので、ウエルフェア土岐と老人保健施設やすらぎに30本ずつ贈呈されました。施設の利用者は「硬さがちょうどいいね」「腰にもええね」と喜び、肩や足、腰などをトントンたたいて気持ちよさそうにしていました。22日には、すこやか館ととき陶生苑にも贈られました。



Voice
年を取ると血の巡りが悪くなるので、たたいてもらえると体がほぐれて軽くなります。皆さんに健康で長生きしてもらえるよう、少しでもお手伝いしたくて、老人会役員で肩たたき棒を作りました。痛いところや違和感があるところが少しでも楽になったら嬉しいです。

古代の人々の生活を身近に感じて

7月6日(土)

妻木平遺跡の発掘調査説明会が妻木町平の発掘調査現場で開催され、市内外から約130人が参加しました。

この遺跡は妻木南部区画整理事業に伴って、平成22年から公益財団法人土岐市文化振興事業団が発掘調査を行ってきました。



説明会では、参加者が発掘調査現場を歩き、調査員からの説明を熱心に聞いていました。また、出土した遺物が展示され、参加者はじっくりと観察し、大昔の人々の生活に思いを巡らせているようでした。